あさくら

市議会だより

令和８年
11.1
No.83



原鶴温泉の水辺広場 原鶴湯ったりよかぜ祭り
“河童大明神”での“けんけんぱあそび”

P2 令和７年度決算
P6 常任委員会
P8 一般質問
P16 あの質問どげんなった？



令和7年度決算

将来の人口規模・財政状況を見据え

持続可能な行財政運営を

令和7年度普通会計決算は、歳入465億35万円、歳出449億9426万円と歳入、歳出ともに3年連続で400億円を超える規模の決算となりました。

実質単年度収支は11億2294万円の黒字決算となりました。歳入では、市税において個人市民税や固定資産税などが増加したほか、地方交付税も増加、約19億5500万円と多額のふるさと応援寄附金をいただいた一方で、歳出では、人件費や児童手当給付、障がい者福祉サービス、公債費の通常償還額などの増加により、歳入、歳出ともに過去最高額の決算となりました。

決算から見える課題を見極め、事務事業の廃止・見直しや資源の有効活用等により、財源の捻出を図り、自主財源の確保と特定財源を最大活用し、将来の人口規模・財政状況を見据えた持続可能な行財政運営に努めていく必要があります。

委員が着目した事業は3ページ

令和7年度　朝倉市会計別決算

区分		歳入	歳出
一般会計		465億1,000万円	450億391万円
特別会計	住宅新築資金等貸付	964万円	964万円
	国民健康保険（事業勘定）	62億7,255万円	62億977万円
	国民健康保険（直営診療所勘定）	6億2,801万円	6億2,783万円
	後期高齢者医療	12億7,727万円	12億3,239万円
	介護保険特別会計	60億4,203万円	59億9,290万円
	小計	142億2,951万円	140億7,255万円
企業会計	工業用水道事業	1億7,269万円	2億1,568万円
	水道事業	9億5,271万円	10億5,085万円
	簡易水道事業	571万円	532万円
	下水道事業	40億2,529万円	46億1,328万円
	小計	51億5,642万円	58億8,513万円
合計		658億9,594万円	649億6,160万円

※1万円未満切り捨てのため、計が一致していません。

令和7年度普通会計歳入歳出決算の主な財政指標

区分	令和7年度	令和6年度
歳入総額	465億35万円	426億3,251万円
歳出総額	449億9,426万円	410億5,111万円
経常収支比率	92.9%	93.5%
実質公債費比率	6.7%	7.5%
財政力指数	0.50	0.50
基金現在高	150億7,288万円	161億2,792万円
地方債現在高	338億908万円	316億7,232万円

※普通会計には「一般会計」「住宅新築資金等貸付特別会計」が含まれます。

ここが知りたい財政用語

★経常収支比率
毎年連続して入ってくるお金のうち、使い道を指定されずに使えるお金を、継続して固定的に支出している経費にどの程度充てているかを示す比率。
この比率が低いほど、使い道を指定されずに使えるお金の割合が大きいということになる。

★実質公債費比率
財政規模に占める単年度の借金返済の割合を示す比率。

★財政力指数
地方公共団体の財政力を示す数値。この指数が1.00を超える団体は、財源に余裕があることになり、普通交付税の不交付団体となる。

★基金現在高
特定の目的のために設けられた資金（貯金）。

★地方債現在高
財政上必要とする資金を外部から調達したもの。地方公共団体の借金。

第３次朝倉市総合計画の基本目標に沿った
令和７年度決算の注目事業

議員が注目した決算を紹介します。
（決算委員会の質疑は４ページ）

誰もが尊重され支えあい、市民とともに創る持続可能なまちづくり

情報発信　地域情報化推進事業　1,000 万円

市公式 LINE の機能拡張やデジタル回覧板、防災放送アプリを導入し、行政・防災情報を取得しやすい環境を整備しました。



市公式 LINE
友だち登録はこちら

災害に強く快適に暮らせる安全・安心なまちづくり

公共交通　コミュニティバス事業　6,810 万円

あいのりタクシー、コミュニティバスを運行し、市民の移動手段を確保しました。



誰もが尊重され支えあい、市民とともに創る持続可能なまちづくり

移住定住　移住定住交流センター運営事業　1,540 万円

移住定住交流センター「コンネアサクラ」を運営し、移住者へのサポートを充実させ、移住促進につなげました。



子どもから高齢者まで、健やかに笑顔があふれるまちづくり

子育て　子育て支援アプリ運営事業　650 万円

子育て支援アプリを導入し、妊娠届、予防接種、乳幼児健診等の手続き・管理のデジタル化を実施しました。



災害に強く、快適に暮らせる安全・安心なまちづくり

道路　地域環境整備事業費補助金　4,310 万円

各地区が行う道路補修・改良、浚渫（しゅんせつ）、草刈り等に対して補助を行いました。



生きる力を育み、生涯成長できるまちづくり

歴史文化　全国藩校サミット朝倉大会事業　500 万円

全国藩校サミット朝倉大会は、「人づくりは国づくり」をテーマに開催し、延べ 1100 人の観客が来場しました。



令和７年度 一般会計 Question Q&A Answer

令和７年度の一般会計決算について「決算審査特別委員会」の中で行われた質疑と答弁を抜粋して紹介します。

高齢者とその家族を支援する制度に ――生活管理指導短期宿泊事業

Q 急な冠婚葬祭などで家族が不在となる際、高齢者が利用できる施設や支援内容、事前登録制の周知はどうなっているか。

A いしずえ荘（介護老人福祉施設）等で、見守りを伴うショートスティとして受け入れている。対象は自立した生活ができる65歳以上で健康状態が良好な方となる。利用には事前登録が必要で、今後は地域包括支援センター等と連携して周知を進める。

朝倉のまちなかをもっと面白く ――まちづくり学校企画運営事業

Q 市街地の持続的な賑わい創出のために行った「まちづくり学校」とは具体的にどのような内容か。

A 市庁舎移転や甘木駅周辺整備、国道322号道路事業など、今後まちなかが大きく変わることを見据え、まちづくり人材の育成を目的に「まちなかをもっと面白くしたい」という市民などを対象に「朝倉まちのスキマ部」を開催した。専門家による講義や実証実験に取り組んでいただき、その成果としてまちなかに１店舗が開業した。

朝倉 まちの スキマ部

計画的に整備を進める ――消防団運営事業

Q 消防団の各分団の消防車両や格納庫などの施設整備について今後の計画は。

A 消防団と協議し、10年間の整備計画を作成している。なお、緊急の修繕などがあれば別途対応していく。



総括質疑 －決算審査の総括として２人の委員から質疑－



柴山 恭子（しばやま きょうこ） 委員

大型事業による市の財政への影響について

Q 今後、大型事業を進めるにあたり、地方債残高や基金残高にどのような影響があるか。

A 現在、汚泥再生処理センター基幹改良事業、十文字公園整備事業等に取り組んでおり、今後も学校体育館空調設備設置事業や公共施設改修事業等が控えている。すべてを短期間に実施すると地方債残高が急激に増加し、公債費も増え、財政運営が厳しくなる。今後の大型事業においても引き続き、国・県の補助金を活用し、交付税措置の高い地方債を借り入れ、一般財源の縮減に努めていく。





堀尾 俊浩（ほりお としひろ） 委員

シルバー人材センターの運営支援の在り方について

Q 朝倉市の人口の約36％が高齢者である。シルバー人材センターで働くシニア世代が、健康で元気に活躍できるための取り組みや市としての考えは。

A シニア世代が健康で生きがいを持って暮らし続けられる環境づくりは重要である。人とのつながりを持ち、社会参加をすることで、地域の活力にも大きく寄与すると考える。

今後もシニア世代が支えられる側でなく、地域を支える担い手として生き生きと活躍できる朝倉市をつくっていきたい。



9月定例会（9月2日～28日）

9月定例会では、27件の議案等を審議しました。
子どもの新生活応援給付金を支給するための補正予算など、全ての議案について可決しました。
審議を行った議案の概要を紹介します。



子どもの新生活応援給付金を支給　2,750万円

小・中学校への入学、高校や大学等への進学、就職等の経済的負担軽減のため給付金を支給します。小・中学校に入学：1万円/人、高校や大学等への進学、就職：2万円/人

▶ 委員会審査　P.6参照

公共施設のWi-Fi環境を更新　1,760万円



ピーポート甘木、朝倉地域生涯学習センター、杷木地域生涯学習センター（らくゆう館）のWi-Fi機器等を更新します。通信環境が改善され、利用者の利便性が向上します。

▶ 委員会審査　P.6参照

請願書・意見書・決議

次の請願書を全会一致で採択、請願内容の趣旨に基づいた意見書を可決し、関係機関に提出しました。

「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」に係る意見書の提出を求める請願書

請願事項

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討するとともに、加配教員の増員など教職員定数改善を推進すること。
2. 教員の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

請願者
福岡県教職員組合朝倉支部
支部長　平田　訓孝

紹介議員
飯田　早苗

次の意見書案を賛成多数で可決し福岡県に意見書を提出、決議案を全会一致で可決し福岡県議会に決議文を送付しました。

福岡県政における公費の適正執行と市民の信頼回復を求める意見書

要旨
地方自治の根幹である二元代表制の下、福岡県及び県議会を巡る公費執行や議会運営の諸問題は、県民の信頼を損なうものとして強く懸念されます。本市議会は、市民を代表する立場から適切な意思表示を行う責務があります。

九州北部豪雨災害で多大な支援を受けた福岡県に対し、改革の取り組みを着実に進め、政治倫理の確立と税金執行の透明性を高めることで、県民の信頼回復と県政の健全化を速やかに実現されるよう求めるものです。

提出者
小島　清人、浅尾　静二、北川　清文

福岡県政に対する信頼回復を求める決議

要旨
福岡県政を巡っては、公費支出や県議会運営等に関する報道を受け、県民の間に不信感や疑問が生じている。県民の理解と信頼を確保するためには、客観的な事実確認と十分な説明が求められる。地方自治の基盤である透明性、公正性、説明責任を徹底し、必要な改善や再発防止に取り組むことが重要である。

朝倉市議会は、九州北部豪雨災害時の支援に感謝しつつ、福岡県及び県議会が県民の信頼に応える自治体として発展することを期待し、適切な対応を強く求める。

提出者
柴山　恭子、熊本　正博

常任委員会　審査結果

常任委員会では、議案の詳細な審査と本会議への審査結果報告を行います。ここではその一部を紹介します。

総務文教常任委員会

公共施設・学校のWi-Fi環境を更新

公共施設のWi-Fi環境（ネットワーク機器等）を更新。

Q 更新を行う公共施設の対象は。

A ピーポート甘木、朝倉地域生涯学習センター、杷木地域生涯学習センター（らくゆう館）の3施設のWi-Fi機器等の更新を行う。

Q 今回の機器更新でどのように改善されるか。

A 老朽化した機器を更新することで、これまでのネット環境に比べ通信速度が速くなり、施設利用者の利便性の向上につながる。また、災害時に避難所として開設した際、気象情報等の動画受信を含め、情報の収集が容易になる。

Q セキュリティ等の対策は。

A 当該施設でWi-Fi機器に接続する際には、パスワード入力を設定しており、施設利用者以外のアクセス等を制限し、不正アクセスの防止に努める。

小中学校の無線LAN機器等を更新。

Q 無線LAN機器の更新は児童生徒が学習している教室のみか。

A 各小中学校の普通教室、特別教室、体育館などが対象。

Q 無線LAN機器等の更新設置台数は全体でどれくらいか。

A 市内小中学校全部で458台のアクセスポイントと160台の中継機器を設置予定。

Q 今回の無線LAN機器等の更新での改善点は。

A 通信環境の安定化が図られ、学習の場での動画撮影や編集、教育情報収集の利便性が拡充される

Q 機器等の更新完了時期は。

A 令和9年3月末までに完了するように進めていく。



より快適な通信環境へ

環境民生常任委員会

子どもの新生活応援給付金を支給

小学校中学校への入学、高等学校及び大学等への進学等の経済的負担軽減のため給付金を支給

令和9年度に小・中・高・大学等の第1学年相当となる子を持つ世帯に支給される。小中学校…1万円／人、高等学校及び大学等…2万円／人

Q 対象者は。

A 進学・就職にかかわらずその学年に相当する年齢の子の保護者が対象となる。

Q 対象者・支給額を設定した根拠は。

A 本件は、物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援を目的とした単年度事業であることから、できる限り公平性を確保できるよう対象者を幅広く設定したもの。また、支給額は、進学や教育に係る費用など、学年が上がるにつれて保護者の経済的負担が増加することを考慮し、それぞれの状況に応じた額を設定している。

インフレスライド条項の適用により請負契約額の変更

環境センター（汚泥再生処理施設）リニューアル工事請負契約の締結について、請負契約額を（変更前）28億500万円から、（変更後）28億8189万5676円にするもの。

Q 増額分の確認は。

A 担当者で精査し、適正価格であると判断した。

Q 財源は配分に変更はあるか？

A 循環型社会形成推進交付金が交付対象事業費の1／3、一般廃棄物処理事業債は補助事業分が充当率90％で交付税措置率50％。単独事業分が充当率75％で、交付税措置率30％となっており、割合は変わらない。



供用開始から19年が経過

詳細かつ慎重に 市政をチェック

本会議での委員長報告の動画はこちら

建設経済常任委員会

今後の上下水道経営へ備える

令和7年度朝倉市上下水道事業の決算等について

令和7年度の上下水道事業の決算について、適正に処理されていることを確認したが、将来的な人口減少に伴う料金収入の減少や、施設や設備の管理及び老朽化に伴う更新費用の増大により一層厳しさを増すものと推測されるため、その対策について確認した。

執行部の説明によると、事業の健全経営及び適正かつ効率的な運営を目的として、市長の諮問に応じ調査審議を行う「朝倉市上下水道事業経営審議会」を設置し、事業の方向性、経営の在り方等に関して、すでに審議を開始しているとの回答を得た。

林道中村白木線5号箇所災害復旧工事について

令和5年災害に伴う林道中村線5号箇所の災害復旧工事について、請負契約額を「1億9789万円」から「2億3558万7000円」に増額する変更契約である。

査定時、崩土堆積により構造物等の被災が確認できなかったため、崩土撤去後に、横断側溝、アスファルト舗装、縁石の被災が判明した。また、当初予定していた施工範囲外でも崩壊が確認され、拡大崩壊を防ぐための追加工事が必要となり、請負契約が増額された。委員会では、これらの追加工事は安全確保のために必要なことであると認め、可決した。



復旧工事が進む林道中村白木線５号箇所

議会運営委員会

行政視察

【広島県東広島市議会】議会の政策提言機能の強化について 所管事務調査の実施方法等について

【兵庫県加東市議会】政策立案等に関するガイドラインについて 政策討論会の取り組みについて

議会運営委員会では、7月28日から29日にかけて、広島県東広島市議会及び兵庫県加東市議会を訪問し、議会の政策形成機能の向上に関する行政視察を行いました。

東広島市議会では、「議会の政策提言機能の強化について」及び「所管事務調査の実施方法等について」を視察しました。同市議会では、委員会が中心となって地域課題を調査・研究し、その成果を政策提言へつなげる仕組みが構築されていました。また、所管事務調査を計画的に実施し、調査結果を市政へ反映させる取り組みについて説明を受けました。

加東市議会では、「政策立案等に関するガイドラインについて」及び「政策討論会の取り組みについて」を視察しました。議会として政策を立案する際の手順や考え方を明確にしたガイドラインを整備するとともに、議員同士が自由に議論できる政策討論会を開催し、課題の共有や政策形成につなげている点が特徴的でした。

今回の視察を通じて、議会には行政を監視する役割だけでなく、市民の声や地域課題を踏まえた政策提言を行う役割も重要であることを改めて認識しました。今後は、先進事例から得た知見を参考にしながら、所管事務調査の充実や議員間討議の活性化を図りながら議会としての政策形成機能の向上に努め、引き続き市民の皆さまの負託に応えられる議会を目指して取り組んでまいります。



広島県東広島市

一般質問者13人

市民の「声」をいかにして形にするのかを市長に問う

傍聴者102人



こんね市長室ではさまざまな意見交換が行われた

一般質問は、市の課題や方針等について、議員自身の意見も交えながら市に考えを聞くものです。

スマホやパソコンから

朝倉市議会 議会中継 検索

議会中継のページでは、生中継のほか、見たい会議や議員名を選んで録画映像を視聴できます。



柴山（しばやま） 恭子（きょうこ） 議員

質問項目

①こんね市長室について
②中学校部活動と地域クラブについて

Q 中学校サッカー部の受け皿づくりを

A 子どもの思い出のため努力したい

動画はこちら

Q こんね市長室の成果や気づきは。

A 例えば避難所を市内3か所では使い勝手が悪く遠くて行けないなど、行政サービスと市民ニーズのずれがあることが指摘された。

Q 市民が持つ疑問や相談を、職員は誠意をもって丁寧にきちんとした回答ができているか。また、対応について職員に通達することは可能か。

A 誠意を持った対応は当然のことだと考えている。週1回の庁議で、私から職員へ、誠意をもって対応し向き合うように、と伝えることを徹底する。「ありがとう」と言われる、職員になってもらいたい。

Q 人口一万人規模のコミュニティと数百人の規模のコミュニティが同様の体制で運営されているが、人口減少を見据え見直しの必要性は。

A いつの時点かで、見直す必要性が出てくると考えている。

Q 中学校にサッカー部がなく、小学校や高校の活動がある一方で、中学校だけが空白となっている。朝倉市としてサッカーを含むスポーツ振興をどのように進めていくのか。場所や指導者の確保など課題はあるが、子どもたちの要望にこたえる努力が必要ではないか。

A 部活動の地域展開を進める中で、大人の都合で子どものやりたいことを抑えつけることはできない。朝倉市に良い思い出を残すことが大事。なんとか前に進むように、教育部を含め話し合いを重ねていきたい。



朝倉市はスポーツが盛んだが、なぜか練習場所に苦労する

Q 市民の負託に答える事ができるか
A 優先順位が必要だが努力していく



北川（きたがわ） 清文（きよふみ） 議員

質問項目
①市長に問う
②有害鳥獣対策の方針について

Q 市民の皆さんの生の声を聞いて一番に感じた事は。

A 私は行政のパートナーとして市民の皆さまと一緒にやれると、皆さまの意気込み、そういったものを感じた。

Q 今回のこんね市長室は市長自身としては期待通りの参加者であったのか。また、今後も続けていくのか。

A 参加人数は延べ596人で発言者は260人。人口の約1%の参加であり、納得はいっていない。もっと皆さまの声を聴くために、今後もこんね市長室は続けていきたいと考えている。

Q 鳥獣の種類と直近3年間の有害鳥獣駆除数の推移は。

A 鹿、イノシシ、アライグマなどで有害鳥獣の年間捕獲数は、令和5年度の合計3250頭、令和6年度の合計3567頭、令和7年度の合計2744頭。令和7年度を除いては、おおむね増加傾向にある。

Q 鳥獣被害対策および捕獲等の処理の問題はどう考えているのか。

A 民間事業者による加工施設の計画を市としても支えていき、駆除員の負担を軽くする。また、緩衝帯整備については地域の状況に応じてどういう対策がいいのか、関係機関と連携を進めたい。



鳥獣被害の軽減へ

動画はこちら

Q 医療的ケア児の支援体制は十分か
A 関係機関と連携し内容の検討をする



大庭（おおば） きみ子（こ） 議員

質問項目
①こんね市長室の成果と今後の政策への反映について
②医療的ケア児の地域生活支援について
③外国人と共生する社会づくりについて

Q 医療的ケア児が住み慣れた地域で安心して暮らせるためには、医療、福祉、教育、母子保健、防災等の関係機関が連携し、切れ目のない支援体制を構築する事が大切である。また、家族が抱えている課題について、どのように考えているのか。

A 朝倉市の医療的ケア児は5人。未就学児は2人、市外の学校に通学中の児童は3人となっている。医療的ケア児等コーディネーターとも連携しながら利用ニーズや事業所の課題を把握し事業の拡大に向けて、関係機関との連携や受け入れ環境の充実に努めていく。家族においては、24時間体制で見守りが必要であり、心身ともに大きな負担があると認識している。

Q まずは、市に相談されたときに、家族の生活課題を聞き取り、当事者の気持ちに寄り添った相談支援が大切だと思うが。

A 窓口対応については、安心して相談できるように職員の資質向上、相談体制の充実に努めていく。

Q 家族の負担を軽減するためのレスパイト事業の時間が年間48時間だが、内容を見直し柔軟に活用出来るようにしていただきたい。

A 家族のニーズ等を踏まえて利用時間の上限を含め、柔軟に事業内容の検討をしていく。



子どもと親が共に安心できる環境を

動画はこちら

Q 小石原川沿い馬田地区の整備状況は

A 旧堰が残る間は限定的な整備となる



鹿毛（かげ） 哲也（てつや） 議員

質問項目

①小石原川の災害対策について
②避難所環境について
③高齢者等の交通弱者の移動手段の確保について
④空き家対策について

Q 千反川原井堰（せんたんかわはらいせき）が樋門から漏水したが、今後の対策は。

A 当該箇所については、すでにつなぎ込み水路が完成していることから、今後はつなぎ込み水路からの取水に切り換えていただきたいと考えている。

Q 指定避難所の冷暖房設備の配備状況は。

A 現在、指定避難所の40か所のうち、空調設備がある施設は、コミュニティセンター等の20施設。学校施設等の20施設については、空調設備が整っていない。なおスポットクーラーは6台備蓄しており、今年度、避難所用の移動式エアコン10台を購入する予定。

Q 放置された空き家は、将来、崩壊による市民への危険があり、市が税金で取り壊さざるを得ない未来の財政負担になると考えるが。

A 実態調査を実施しているので、件数ではなく、その状況を把握して、この調査で初めて市として全体像を持つことができる。この調査の結果をよくよく検討して、後手に回らないように、手続きをしていきたい。



税金で取り壊すと
多大な費用が掛かる

動画はこちら

Q こんね市長室から見えたもの

A 政策立案の参考にする



石井（いしい） 清治（せいじ） 議員

質問項目

①こんね市長室から見えたものについて
②子育て支援事業の拡充について
③農地転用の流れについて

Q 両支所で行政手続きが完結できるようにならないか。

A 市民の利便性向上のために可能な限り、両支所で手続きが完結できるよう全庁的に周知をしていく。

Q 市長として㈱ガマダスの社長変更の考え方を問う。

A 専門的なアドバイザーによる分析を行い、会社法に基づく株主総会や取締役会の手続きを経て、必要であれば社長の変更を考えていく。



30周年を迎えた
物産館バサロ

Q コミュニティ会長と区会長理事の位置づけは。

A 区会長制度を刷新している近隣自治体の事例を調査研究し、地域の実情や市民にとっての分かりやすさなど、行政との円滑な連携につながる地域運営体制を目指していく。

Q 小・中学校入学祝い支援事業の創設ができないか。

A 他自治体の先進事例や、事業の効果、対象者の範囲、財源の確保などの調査研究を行う。子育て世帯への様々な経済支援について、現在、市の戦略会議等で検討しており、子どもたちの健やかな成長につながるよう取り組んでいく。

Q 農業後継者の住宅建築に係る農地の転用申請について問う。

A 朝倉市で定住を希望する若い世帯を応援することは、人口減少対策や地域活性化の視点からも重要であると考えている。住宅建築のための農地転用申請については、申請者に寄り添い親切丁寧な指導をしていく。

動画はこちら

防犯カメラは、朝倉に絶対必要！



熊本（くまもと） 正博（まさひろ） 議員

質問項目
①安全・安心なまちづくり
②三ダム水源地域ビジョン

Q 防犯カメラは何台設置しているのか。どういった所に設置しているのか。

A 市管理で約１００台以上設置。市の補助金で地域に20台設置している。

Q 防犯カメラを積極的に運営する方針はあるのか。児童の通学路等市単独でも積極的に設置してほしい。

A 防犯カメラ設置補助金があり、十分検討し、必要な地域には積極的に活用して欲しい。

Q 小中学校ではプール授業の暑さ対策をどう実施されているか。

A 比較的水温が低い午前中に実施。プールサイドにテントや人工芝、プール全体を覆う遮光ネットを設置。各学校において暑さ対策を工夫して実施している。

Q 現在のプール授業はどのようなものか。

A 水難事故を防ぐ安全教育や水に親しみ基本的技術を身につける内容。

Q 熱中症対策として屋内プール授業を一部の学校で試行的に実施できないか。

A 課題等を検証する有効な手法と考える。今後も調査研究を行う。



有効な熱中症対策を

Q ダムがある水源地として三ダムを使った活性化をどのように考えているか。都市圏の人たちに朝倉市のきれいで美味しい水を飲んでいただき、朝倉市のことを思い、出向いていただきたい。

A 水源地域のブランディングを位置付けていき、この機会を生かし、水資源機構や福岡県・下流の自治体と一緒に交流事業を進めていきたい。

動画はこちら

Q 学童支援員を確保するためには A 支援員の処遇改善を働きかける



日野（ひの） 泰信（やすのぶ） 議員

質問項目
①観光面での他市町村との連携について
②学童保育所について
③学校設備のランニングコストについて
④ファースト・トイ事業について

Q こんね市長室志波会場で観光対策の質問にうきは・日田両市と連携していくとの回答だったが、他市との連携も大事と考える。例えば朝倉・うきは・日田に加え、嘉麻・飯塚の五市で行われているひな祭りイベントをひな巡りイベント「ひなの道」として連携して行うのはどうか。

A 新しく始めるのではなく、すでにあるものを組み合わせるのは面白いと思う。ご提案は共有させていただく。

Q 学童の保育料６８００円は近隣市町村（５０００円くらいが多い）と比べて高いと思うが妥当か。

A 平均的な水準と比べるとやや高めではあるがもっと高い市もある。保育料が高いという要望や意見が多数寄せられている状況ではない。

Q 今後の学童保育所について市長の考えは。

A 運営の動向や近隣の状況を見ながら再考すべきかなと思っている。朝倉市で子どもを育てたいと思っている方に放課後の心配はさせないようにしたい。

Q ファースト・トイの玩具の安全性がホームページを見ただけでは伝わらないが本当に安全か。

A 玩具の安全基準に適合する事を確認しており問題はない。



「山田堰のクーゲルバーン」
480 × 260 × 24 mm
（ボール　直径 45 mm）
PSC 対象製品として第三者機関の安全性に関する試験を実施し、
玩具の安全性などの基準に適合。

動画はこちら

Q 熊本地震に対する市の対応は
A 職員に調査させ、職員を派遣した



実藤（さねふじ） 輝夫（てるお） 議員

質問項目
①市長に問う

Q 全員協議会に市長就任以来一度も出席しないのは議会軽視と思うが。

A 意図的に出てこなかったのではなく執行部の報告案件がなかったため。

Q 熊本地震への対応を市長自ら市議会に報告する必要があった。多くの市は発生後、翌日や2日目には職員派遣はもちろん、水や携帯トイレなどの物資を提供している。朝倉市は1週間後に職員を派遣した。被災した市として即対応すべきではなかったか。

A 1週間後に職員だけ派遣したのは他自治体と比べて遅いと言われればその通りと思うが、発生後職員に必要な物資や人数を調査させ派遣した。

Q 財政の現状と今後の課題をどう考えているか。

A 財政は楽な状況ではない。放漫財政をすればかなり厳しい局面が待っており歳入増の施策が必要。

Q 小中学校体育館の空調整備やサン・ポートの建て替え、十文字公園や甘木駅周辺整備など大型事業がある。こんね市長室の市民の声実現は難しく、聞くだけにならないか。

A 財政的には余裕を残したいと思っており、大型事業は取捨選択していくしかない。



健全な財政運営を

Q 朝倉市は寒水川や小石原川、国道322号の事業、農業問題など国・県との関わりが大きい。市長は国・県との関係が良くないと聞くが、市民のために対応にあたるべきだ。

A 私と国・県との関係が悪いということであれば、襟を正して改めていく。市民のために首長として責任を果たしたい。

動画はこちら

中山間地農業の現状と課題を問う



仲山（なかやま） 寛（ゆたか） 議員

質問項目
①烏集院地区危険物倉庫における対策について
②朝倉市の農林行政施策について

Q 烏集院地区危険物倉庫の現在の稼働状況について説明を。

A 8月27日に現地を訪れ、聞き取り調査を実施した結果、協定書に反する物品は持ち込まれていない。

Q 当該関係地区より「環境保全」に関する要望書に対し、市長は、近隣住民に対しどのような対策を考えているのか。

A 地域住民の皆さまの不安解消に向けて、関係者との協議を継続しながら、法令および協定に基づいて、適切に対応し、住民の皆さまの安全安心の確保に努めていく。

Q 中山間地と平坦地の農作業の内容、負担効率の違いについて、どのように認識しているか。

A 中山間地域は平坦地域と比較すると、農地が少区画で、傾斜地が多い。農業機械の利用効率が低く、法面の草切りや鳥獣被害対策など多くの労力を要する。

Q 労力削減の対策として、法面の防草シートの活用と助成はできないか。

A 国の制度では、共同活動支援の中で防草シート設置も可能。今後も国の支援制度を活用し、農作業負担軽減に努めていく。



防草シートの活用で農作業を効率的に！

動画はこちら

Q SNSの風評被害からどう守るか
A 市のガイドライン作成は困難



浅尾（あさお） 静二（せいじ） 議員

質問項目
①市政運営について

Q 6月議会でSNSの偽・誤情報対策は国の動向を見て研究すると答弁したがその後の取り組みは。

A 市報に情報リテラシーの記事を掲載した。

Q 福岡県議会をめぐる一連の出来事で原鶴温泉に対する風評被害が生じた。市長はどう受け止めたか。

A SNSで意見が飛び交っている事は承知している。原鶴温泉の方々から直接的な実害はないと報告を受け、大きな実害がなくてよかったと思っている。

Q このような風評被害が出た時の情報収集や誤情報に対する正しい情報発信などSNS対応のガイドラインを整備するべきでないか。

A 風評被害やSNSの炎上など市が対応するガイドラインはハードルが高い。

Q 副市長不在の中、市長公約の若い世代の流出を止める施策や空き家対策など部局横断的な施策の最終的な取りまとめは誰が行っているか。

A 取りまとめは各部長が行う。

Q こんね市長室は市民の声を市政にどう生かすかであるが、市民の声をどのように整理し、回答していくのか。

A 担当課と一緒に考えるが、現時点では多くの市民の声を聞くことを重視する。



市民の声をどう生かしていくか

動画はこちら

Q 親元就農支援の創設について問う
A 有効な施策について検討したい



渡辺（わたなべ） 毅（つよし） 議員

質問項目
①朝倉の農業の方向性
②朝倉の歴史教育での橘広庭宮の活用について

Q 市内の総農家数は、平成12年は4763戸が、令和7年には2002戸まで減少し、特に兼業農家の減少が激しい。令和5年度に、市は将来の営農意向に関するアンケートを実施している。結果を尋ねる。

A 規模拡大・現状維持（下図白色）42.6%、規模縮小・離農（下図赤色）は57.4%に上る。また、後継者がいないと回答した方が約80%に達し、今後農業の担い手不足が一層深刻化することが懸念される。

Q 八女市や大刀洗町では親元就農制度を独自で設け、国の制度の隙間を埋める形で担い手確保の策を取っている。朝倉市でも今手を打ち、農家の担い手確保に努めるべきである。親元就農制度を導入できないか。

A 近隣自治体が独自制度を設けていることは重く受け止めたい。情報収集、調査研究を行い検討したい。

Q 国は2050年までに農地の25%を有機農業にする計画である。朝倉市でも、先進地の一つである亀岡市のように有機米を栽培する農家を募り、まずは米飯給食に有機米を導入してはどうか。

A 先進自治体の事例を参考に調査研究を進めたい。



地域計画目標地図素案（一部）

動画はこちら

給食から始まる有機のまちづくり



飯田（いいだ） 早苗（さなえ） 議員

質問項目
①気候変動に対応した持続可能な有機農業の推進について
②学校給食を起点としたオーガニック給食の推進について

Q 気候変動が農業に与える影響と今後の課題は。

A 猛暑や豪雨、渇水等で、米の品質低下、野菜の生育不良、果樹の日焼けや着色不良等が発生。農業収入、営農意欲の低下も懸念される。適応技術の普及と持続可能な農業環境整備に取り組む。

Q 国は環境保全や農業者の所得向上、地域経済の活性化のため「みどり加速化GXプラン」で、有機農業の面積拡大を掲げている。農業センサスでは有機農業者は151人。重要施策を実行に移す考えは。

A 生産者の意向や多様な営農形態との調和を図り、有機農業を進める地域の模索も含め、実情に即した農業振興に取り組む。

Q 有機農業の出口とし、先進自治体はオーガニック給食を推進している。教育的意義をどう考えるか。

A 食育や環境教育、地域学習の教材として、食への感謝や地域への愛着を育むことが期待できる。持続可能な社会を考え、豊かな人間性や社会性を育む上でも教育的意義がある。

Q オーガニック給食を農業振興や地域経済の循環に位置付け、推進しては。市長に伺う。

A 有機農業とオーガニック給食の重要性は理解している。生産者の意向や販路、流通体制などの課題を整理し、先進自治体の事例を調査し、取組を検討していく。



オーガニック給食に
取り組む保育園の園児たち
「いただきまぁ～す」

動画はこちら

市民の命と暮らしを守る朝倉市へ



徳永（とくなが） 秀俊（ひでとし） 議員

質問項目
①暑さ対策について
②熊本地震等を踏まえた本市の防災・減災対策について
③高齢者の感染症対策について
④市長の政治姿勢について

Q 7月21日に大好評のうちに、終了したエアコン設置費補助事業。市民の暮らしと命を守るために来年度も実施できないか。

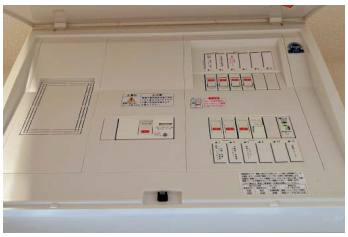
A 近年の記録的な猛暑を踏まえて市民の皆さまの命と健康を守る熱中症予防の観点から、極めて重要かつ効果的な施策であった。一方、財源を考えると同じ規模での実施は難しい。今後実施するのであれば本当に必要な方にピンポイントに届ける政策を検討したい。

Q 災害発生時、市民の生命と財産を守る基本である罹（り）災証明発行の迅速化はなされているのか。

A 本市は令和7年度に、被災者生活再建システムを導入した。タブレットによる現地入力やシステム判定により、被害認定に関する知識や経験が少ない職員でも簡単な操作で現地での入力作業が可能となった。現在、罹（り）災証明申請後、おおむね1週間程度で発行できる事を目標としている。

Q 地震発生時通電火災を未然防止する感震ブレーカー設置を市はどう考えているのか。

A 地震発生後の火災の約6割が通電火災である。感震ブレーカーは通電火災を防いで、市民の命と財産を守る効果的な防災対策だと考え今後さらに周知に努める。



通電火災を防ぐ
感震ブレーカー

動画はこちら

【定例会審議結果】

9月定例会で審議した議案の結果です		◎…全会一致 ○…賛成多数 ※…討論あり
議案番号	議案の件名	
総務文教常任委員会		
第79号議案	朝倉市認可地縁団体の印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎可決
第82号議案	財産の取得について（ネットワーク機器等）	◎可決
第83号議案	財産の取得について（小中学校無線ＬＡＮ機器等）	◎可決
8請願第2号	「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」に係る意見書の提出を求める請願書	◎採択
環境民生常任委員会		
第66号議案	令和７年度朝倉市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定について	◎認定
第67号議案	令和７年度朝倉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎認定
第68号議案	令和７年度朝倉市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	◎認定
第69号議案	令和７年度朝倉市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎認定
第76号議案	令和８年度朝倉市介護保険特別会計補正予算（第１号）について	◎可決
第78号議案	朝倉市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	◎可決
第80号議案	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について（環境センター）	◎可決
建設経済常任委員会		
第70号議案	令和７年度朝倉市工業用水道事業の利益の処分及び決算の認定について	◎可決及び認定
第71号議案	令和７年度朝倉市水道事業の利益の処分及び決算の認定について	◎可決及び認定
第72号議案	令和７年度朝倉市簡易水道事業の利益の処分及び決算の認定について	◎可決及び認定
第73号議案	令和７年度朝倉市下水道事業の利益の処分及び決算の認定について	◎可決及び認定
第77号議案	令和８年度朝倉市下水道事業会計補正予算（第１号）について	◎可決
第81号議案	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について（林道中村白木線５号箇所）	◎可決
その他		
報告第15号	専決処分の報告について（交通事故による損害賠償）	報告済
報告第16号	専決処分の報告について（工事請負契約の変更についての議決内容の一部変更）	報告済
報告第17号	専決処分の報告について（交通事故による損害賠償）	報告済
報告第18号	専決処分の報告について（工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更）	報告済
報告第19号	令和７年度朝倉市健全化判断比率等の報告について	報告済
報告第20号	令和７年度甘木鉄道株式会社の決算について	報告済
報告第21号	令和８年度甘木鉄道株式会社の事業計画について	報告済
第65号議案	令和７年度朝倉市一般会計歳入歳出決算の認定について	◎認定
第74号議案	令和８年度朝倉市一般会計補正予算（第２号）について	◎可決
第75号議案	令和８年度朝倉市一般会計補正予算（第３号）について	◎可決
第84号議案～第87号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	◎同意
意見書案第3号	「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」を求める意見書の提出について	◎可決
意見書案第4号	福岡県政における公費の適正執行と市民の信頼回復を求める意見書の提出について	○可決
決議案第1号	福岡県政に対する信頼回復を求める決議案の提出について	◎可決

賛否の分かれた議案

議案番号＼議員名	1 日野泰信	2 石井清治	3 飯田早苗	4 渡辺毅	5 仲山寛	6 徳永秀俊	7 北川清文	8 熊本正博	9 鹿毛哲也	10 半田雄三	11 堀尾俊浩	12 欠番	13 浅尾静二	14 柴山恭子	15 大庭きみ子	16 実藤輝夫	17 加藤正二	18 小島清人
意見書案第４号	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	―	○	×	○	○	／	○

※【○:賛成　×:反対】意見書案第４号は小島清人議員が提出者であるため、加藤正二副議長が議長の職務を行い、かつ、賛否同数ではなかったため表決に参加していません（地方自治法106条の第1項）。



人事案件

令和８年第４回定例会で次の方々の推薦に同意しました。

朝倉市人権擁護委員

丸山康晴（まるやまやすはる）氏（三奈木）

立野俊之（たてのとしゆき）氏（八重津）

養父英輔（ようふえいすけ）氏（杷木久喜宮）

櫻場隆（さくらばたかし）氏（千手）

あの質問 どげんなった？



Q 空き家の実態調査を市では行わないのか。
（令和７年９月定例会 ※令和６年にも関連質問あり）

A 空き家問題に適切に対応するためには、実態調査など現状を正確に把握することが不可欠である。現在、調査方法について検討を行っている。

こげんなりました

令和８年10月から、市内全域で空き家等の実態調査を実施しています。調査方法は調査員による外観目視や写真撮影を行っています。

朝倉市議会による令和８年熊本地震に対する義援金について

朝倉市議会では、被災された方々へのお見舞いと被災地の一日も早い復旧・復興にお役立ていただくため、全議員より募りました義援金200,000円を令和８年９月25日付で九州市議会議長会の災害義援金口座に送金いたしました。

この度の令和８年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

表紙の風景

原鶴温泉の水辺広場に、朝倉市の豊かな自然景観をイメージした花園が、９月20日にオープンしました。これは、福岡県の「花による美しいまちづくり」事業の一環で、デザインと施工を手がけたのは庭園デザイナーの石原和幸さん。イギリスの権威あるガーデニングの祭典「チェルシーフラワーショー」で13回の金賞を受賞し、エリザベス女王からも〝緑の魔術師〟と称えられた方です。ぜひ一度、ご覧ください。



議員の1枚

7月に杷木志波の須賀神社で行われた注連下しの祭典、夜渡しの祭典、祇園の祭典にて、杷木小学校３年の中川文乃さんが巫女デビューを果たしました。文乃さんは、最初は緊張した面持ちでしたが、小学生とは思えぬ堂々とした立ち振る舞いで見事に大役を務め上げました。来賓でお越しいただいた中島市長も感心しきりでした。



編集後記

中島市長となり２度目の市議会定例会が終わりました。福岡県や県議会では海外視察や議長選出の金銭の不透明な点等が指摘されており、朝倉市議会でも、福岡県に対し意見書を提出、県議会に対し決議文を送付しました。今後も市民の皆さまから負託を受けた議会として、役割を果たしてまいります。

広報委員会

委員長　徳永秀俊（とくながひでとし）
副委員長　飯田早苗（いいださなえ）
委員　柴山恭子（しばやまきょうこ）
委員　渡辺毅（わたなべつよし）
委員　石井清治（いしいせいじ）
委員　日野泰信（ひのやすのぶ）

次回定例会の予定

開会日	12月３日
一般質問	12月８日～10日
議案質疑	12月10日
常任委員会	12月11日～15日
閉会日	12月18日

※11月27日の議会運営委員会で変更になる場合があります。

あさくら市議会だより　発行：朝倉市議会　編集：広報委員会　〒838-8601　福岡県朝倉市甘木232-1
Tel:(0946)22-1111(代表)　Fax:(0946)22-1125　E-mail:gikai@city.asakura.lg.jp